

新庄町町制施行八十周年記念

changes of a time

写真で綴る
新庄町
80年の変遷



斯くして「新庄」は産声を上げた。

新庄町は大和盆地の西南に位置し、町内には古代からの遺跡が広い範囲に分布し、まちの西方には金剛・葛城・二上山が、東方には万葉集で詠まれた畝傍・耳成・天香久山が位置し、歴史に名だたる寺社も数多く、四季折々に咲く花も風光明媚な環境に彩りを添えています。「新庄」という地名は、江戸時代の始め、それまでこの地を支配していた布施氏にかわって桑山氏が支配することになり、新しく城(正しくは陣屋)を築いたところから「新城」と書くようになりました。桑山氏の失脚後、永井氏が明治時代始めの廢藩に至るまで統治し、明治四年の廢藩置県の後、大阪府、堺県、奈良県と管轄が変遷しました。その後、大正十二年、新庄村は町制を施行して「新庄町」となり、15大字で構成される大きな町となりました。激動の歴史を歩んできた新庄を80年前まで溯り、現在までの足跡を写真と年表で綴りました。

空から見た新庄（昭和15年5月27日撮影）



小奇才、諷い裏ヌハ糸繰老婆
詠奇とひづる凡の長兄仕入の
商人あれバ氣の短と織屋の
親にひづく恵もひそひの如く
筭盤の音機音に混じて甚
静うからざる正一土地

新庄陣屋町の図



もくじ

プロローグ

新庄村から新庄町へ

大戰・復興・教育・経済改革へ

戰後新生活—高度經濟成長期

万博～石油ショック・地価の高騰

産業空洞化～平成そしてバブル崩壊

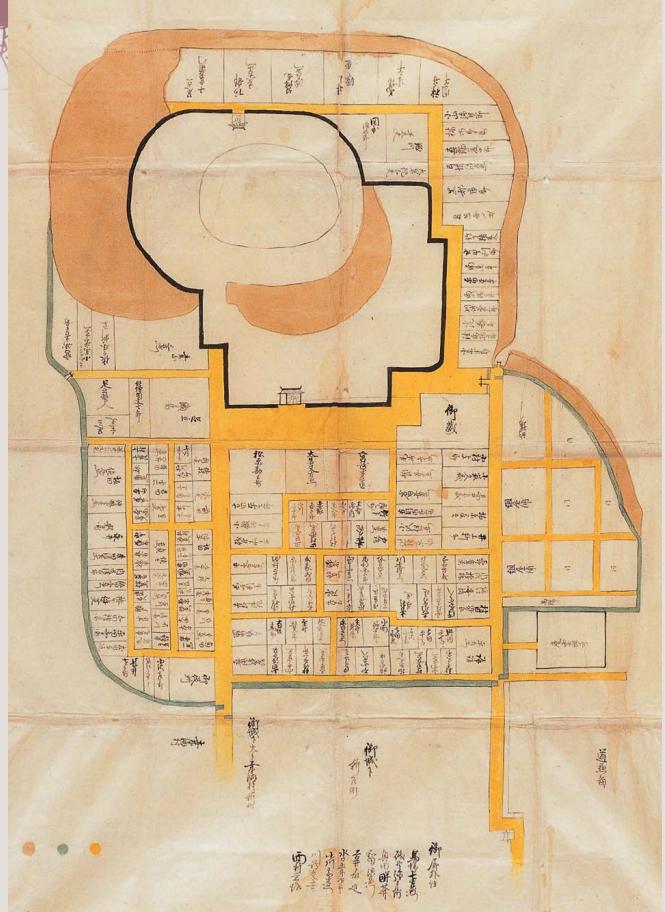
IT革命発進／ノーベル賞ダブル受賞

歌人〈前川佐美雄〉生誕一〇〇年

記念誌あいさつ

P	R	O	L	O	G	U	E
西暦	年号	町制以前のあゆみ					
450年～	450年～	葛城氏の時代	屋敷山古墳築造	飯豊天皇陵古墳築造	葛城氏の時代	葛城氏の時代	葛城氏の時代
6世紀後半	6世紀後半	布施寺(置恩寺)の初見	この頃、置恩寺十一面觀音菩薩立像ができる	布施寺(置恩寺)の初見	この頃、置恩寺十一面觀音菩薩立像ができる	布施寺(置恩寺)の初見	この頃、置恩寺十一面觀音菩薩立像ができる
1067	治暦3	慶長6	桑山・晴、布施藩初代藩主(のち新庄藩)	天和2	桑山・尹四代藩主、改易される。永井直円、初代藩主	天和2	桑山・尹四代藩主、改易される。永井直円、初代藩主
1601		文久3	永井氏、陣屋を新庄村から櫛羅村に移す	明治4	廃藩により櫛羅藩から櫛羅県が成立(9代藩主永井直哉)	明治22	新庄村・忍海村発足
1682		慶長5年9	関ヶ原の戦い	1871	廢藩置県・奈良県成立する	1889	大日本帝国憲法発布
1863		慶長5年9	関ヶ原の戦い	1923年(大正12)	町制施行以降は次ページより	1923年(大正12)	町制施行以降は次ページより

江戸時代新庄藩の藩制確立期に描かれたと考えられる新庄城岡武家屋敷地内に住む家臣らの屋敷配置を知ることができます



大正12年～昭和13年

新庄村から新庄町へ

大正12年8月31日、住民の期待をになつて町制が施行され、新しい町“新庄町”が誕生しました。町制祝賀会は、三日間に渡つて実施、だんじりや花火、仮装行列が催され、奈良県当局も「町制実施によって得るところは相当大きかろう」と、将来の発展を期待していた事実が新聞紙上に報道され、記録として残っています。



町制施行の記念品



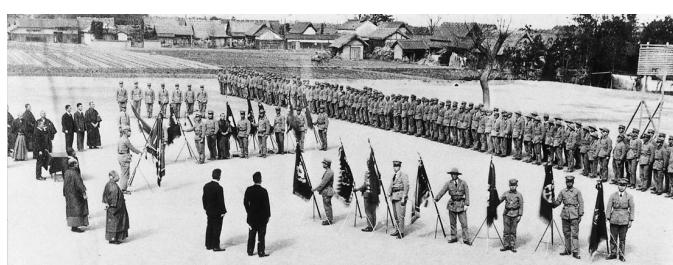
大正12年 新庄村の歴史的な門出を飾った人々



昭和2年頃 手押しポンプからガソリンポンプに切替



新庄尋常高等小学校



昭和3年 豊彰祝賀会記念



忍海尋常高等小学校／昭和3年～昭和41年



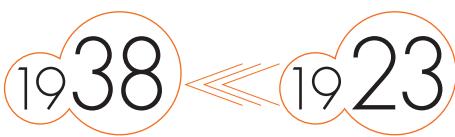
昭和7年 若人有志によるハーモニカソナエティー



昭和11年 納税成績優良者の表彰



昭和9年 新庄村青年団第1回剣道大会



西暦
年号

新庄町のあゆみ

1923	大正12	8・31町制施行 人口5,649人 978戸
	初年度予算33,669円	甲子園球場開場
1924	大正13	第1代忍海村長 高松文蔵氏(12・3・17～14・6・9)
	忍海村信用購販元利用組合設立	忍海尋常高等小学校落成
1925	大正14	第2代町長 村井善四郎氏(13・5・30～15・11・12) 新庄町役場厅舎移転(丸大字新庄公民館跡)
	忍海酪農組合前身発足	東京放送局本放送開始
1926	1926	第12代忍海村長 前川常治郎氏就任(14・6・20～15・1・28)
	大正15	新庄尋常高等小学校に奈良県新庄女学校を付設
	昭和1	新庄町印鑑条例制定
	新庄 忍海青年訓練所開所	大阪中央放送局本放送開始
	第3代町長 和田三氏就任(15・11・19～54・11・6)	大正天皇崩御 昭和と改元
	第13代忍海村長 堀内忠三氏就任(15・2・3～59・5・23)	裕仁天皇即位
1927	1927	第4代町長 足高伊一氏就任(54・11・12～56・1・23)
	昭和5	南和電気鉄道南和線開通(現近鉄)新庄・忍海駅開設
	第5代町長 井村徳一郎氏就任(56・1・23～58・2・12)	金融恐慌
	昭和6	耕地整理事業竣工
	昭和7	農村振興普通土木事業改修
	昭和8	満州事変勃発
	昭和9	上海事変勃発
1928	1928	第14代忍海村長 安川新氏就任(59・9・26～59・7・31)
	昭和10	日本連盟を脱退
	昭和11	皇太子継宮明仁親王誕生
1929	1929	室戸台風来襲関西一帯被害甚大
	昭和12	国防婦人会発足
1930	1930	ロンドン軍縮会議脱退
	昭和13	日華事変起(日中戦争の始まり)
1931	1931	南京陥落
1932	1932	国家総動員法公布
1933	1933	
1934	1934	
1935	1935	
1936	1936	
1937	1937	
1938	1938	

主な出来事

関東大震災

甲子園球場開場

東京放送局本放送開始

大阪中央放送局本放送開始

大正天皇崩御 昭和と改元

裕仁天皇即位

金融恐慌

織田幹雄、日本人初のアムステルダム五輪で金メダル

世界的大恐慌始まる

上海事変勃発

満州事変勃発

日本連盟を脱退

皇太子継宮明仁親王誕生

室戸台風来襲関西一帯被害甚大

ロンドン軍縮会議脱退

日華事変起(日中戦争の始まり)

南京陥落

国家総動員法公布

大戦～復興・経済改革へ

昭和16年12月、太平洋戦争が始まると同時に国内は戦時体制に入り、銃後の国民は、「億心」「せいたくは敵だ」「欲しがりません勝つまでは」と、全員が国策に協力することが強いました。終戦後、「ライフライン」の復興を始め、産業はめざましく発展、学校制度の大改革が断行されました。



昭和14年 新庄女学校生徒の体操



昭和14年 権原神宮奉納米の御田植祭



大日本国防婦人会新庄町分会



昭和15年 新庄女学校



昭和16年 心身ともに鍛錬する青年たち



昭和14年頃 新庄女学校の授業風景



昭和21年頃の新庄中学校校舎



昭和14年 新庄町青年団建国奉仕隊

1950	1949	1948	1947	1946	1945	1944	1943	1942	1941	1940	1939	
昭和25	昭和24	昭和23	昭和22	昭和21	昭和20	昭和19	昭和18	昭和17	昭和16	昭和15	昭和14	
警務委員会設置 新庄町隔離病棟落成	新庄酪農組合設立 新庄町警廃止(住民投票により)	自治体警察設置 新庄・忍海農業協同組合発足 教育委員会法制定 新庄・忍海中学校を各小学校に併設 第8代町長 森井伊重郎氏就任(5月22日～10月27日)	六三制教育発足により国民学校を小学校と改称 忍海郵便局開設 六三制教育実施	農地委員選挙 婦人会発足 新庄・忍海中学校を各小学校に併設 第8代町長 森井伊重郎氏就任(5月22日～10月27日)	昭和20 新庄農業青年学校廃止 新庄女子農学校設置、奈良原新庄女学校廃止 第16代忍海村長 辻本正助氏就任(5月31日～6月1日)	千ばつ 銃剣道振興会発足 木材報国隊発足 新庄農業青年学校廃止 第17代町長 倉田光三氏就任(6月12日～11月20日)	昭和18 第7代町長 倉田光三氏就任(6月12日～11月20日)	防空組合発足 軍友会発足 防空組合発足 軍友会発足	昭和17 防空組合発足 軍友会発足	昭和16 大日本青少年団結成 新庄町翼賛社団発足	昭和15 第15代忍海村長 安川貞三氏就任(8月5日～9月4日)	昭和14 学制改革により(新庄・忍海)国民学校と改称 第6代町長 吉川義太郎氏就任(5月17日～8月5日)
警察予備隊設置 朝鮮戦争始まる	金閣寺全焼 テレビ試験放送(東京)	法隆寺金堂焼失 法隆寺金堂焼失	法隆寺金堂焼失 法隆寺金堂焼失	法隆寺金堂焼失 法隆寺金堂焼失	法隆寺金堂焼失 法隆寺金堂焼失	法隆寺金堂焼失 法隆寺金堂焼失	法隆寺金堂焼失 法隆寺金堂焼失	法隆寺金堂焼失 法隆寺金堂焼失	法隆寺金堂焼失 法隆寺金堂焼失	法隆寺金堂焼失 法隆寺金堂焼失	法隆寺金堂焼失 法隆寺金堂焼失	
国民徴用令公布 物価統制令実施 米、砂糖、マッチ配給制 ぜいたく品禁止令	紀元2600年祝典 国民服制定	12・8 太平洋戦争勃発	衣料切符制実施 米機日本初空襲	学徒戦時動員体制成る 米機日本初空襲	防空法による疎開命令 学童集団疎開	防空法による疎開命令 学童集団疎開	兵役年令17才に引き下げ 東海地方大地震(東南海地震)	12・1 学徒出陣 防空法による疎開命令 学童集団疎開	12・1 学徒出陣 防空法による疎開命令 学童集団疎開	昭和16 大日本青少年団結成 新庄町翼賛社団発足	昭和15 第15代忍海村長 安川貞三氏就任(8月5日～9月4日)	昭和14 学制改革により(新庄・忍海)国民学校と改称 第6代町長 吉川義太郎氏就任(5月17日～8月5日)

西暦	昭和年号	新庄町のあゆみ	主な出来事
1952	昭和27	全国優良町村受賞(県内唯一の受賞町) 新庄町上水道設置認可 公営住宅 大字新庄地内に10戸、公営住宅 西室に5戸、 忍海中学校校舎新築落成 新庄町・忍海村各教育委員会設置	白井義雄 初のボクシング世界チャンピオンに NHK連続ドラマ「君の名は」の放送開始
1953	昭和28	11・16町制施行30周年記念優良町村全国表彰受賞披露式典 第10代町長 倉田光三氏就任(5月27日～5月28日) 新庄高等家政女子学校廃止 4Hクラブ結成 衛生指導委員会結成	農業委員会法制定 対日講和・安全保障両条約調印
1954	昭和29	兄川筋護岸災害復旧工事 新庄町新生活実践運動協議会設置	テレビ放送開始(東京地区) 町村合併促進法公布
1955	昭和30	南道穂地内にごみ焼却炉完成 社会教育研究会発足	街頭アレンジが人気を集める テレビ放送開始(大阪地区)
1956	昭和31	人口11,073人 予算3,293万円 第10代町長倉田光三氏就任(5月31日～6月1日)合併後 新庄町体育協会 新庄町婦人会発足 大字東辻及び北十三の区域を南葛城郡御所町に境界変更 第11代町長 森井伊重郎氏就任(5月12日～5月31日)	第五福竜丸、ビキニ環礁で水爆被災 自衛隊発足 電化アーム「三種の神器」が人気 原水爆禁止世界大会、広島で開催 民・自両党解党し、自由民主党結党 初の国産トランジスタ「ジオ」発売 国際收支大幅改善の「神武景気」 日ソ国交回復 国際連合に加盟
1957	昭和32	大字柳原を廃止し、その区域を分けて柳原、新村、今城 の大字が成立する 出屋敷の大字を設定 忍海小学校柳原分校を廃止し、大字新村の児童を本校に収容 大字柳原、今城、出屋敷の区域を南葛城郡御所町に境界変更 役場庁舎移転 新庁舎開庁式 忍海支所廃止 町村合併庁舎落成、上水道完成祝賀式挙行 新庄小学校木造校舎3教室1棟落成	茨城県東海村に原子の火 5千円札発行 日劇ウエスタン「カーバル、ロカビリ」大流行 長嶋茂雄、プロ野球新人王 1万円札発行
1958	昭和33		

戰後新生活（ 高度經濟成長期）

昭和35年4月、忍海中学校が新庄中学校に統合
国道・県道の道路整備が進むなか、技術革新を背景に、経済大国の道を歩んだ日本は
40年には資本主義国で世界第一位の国民総生産をあげ
国民生活もカー、クーラー、カラーテレビの3Cフレーム到来



昭和28年 消防自動車入魂式



昭和17年 豊饒期の季節計日所



昭和30年初期 出初式



昭和19年 現役兵出陣壮行式



昭和30年
小学校給食風景



昭和24年
忍海農業協同組合



昭和23年 新庄町警察宣誓式

1959

昭和34

大字林堂地内に公営住宅20戸落成
国道24号線開通町内有線放送開始
町道新庄～脇田線竣工

町内有線放送開始

町道新庄～脇田線竣工

町内有線放送開始

4・10 皇太子殿下、正田美智子さんと結婚
経済白書発表 この年過去最良の「若日景気」

マイカー時代

大蔵省ドル為替の自由化を実施

伊勢湾台風 中部地方を襲撃

ソ連が初の有人衛星船打ち上げに成功
カラーテレビ放送開始／インスタント食品登場

安保騒動 日米新安保条約発効

池田内閣成立 国民所得倍増(計画)決定

ノ連人工衛星船第1号打ち上げ成功

農業基本法公布

第2室戸台風来襲、県下に被害出る

通勤地獄激化

東京都、世界初の「千万都市」

堀江謙一、ヨットで太平洋横断

ケネディ大統領暗殺

初の日米間テレビ宇宙中継受信成功

新千円札発行

東海道新幹線開通(工期5年半)

第18回オリンピック東京大会開催

第12代町長 足高 晋氏就任(63.12.21～66.12.21)

日韓基本条約(12・8発効)

朝永振一郎氏にノーベル物理学賞授与

戦後初の赤字国債発行

国民祝日改正公布(9.15を敬老の日、

10.10を体育の日)

吉野川分水西部幹線水路大字脇田まで竣工、吉野川分水

大字北花内～中戸線竣工

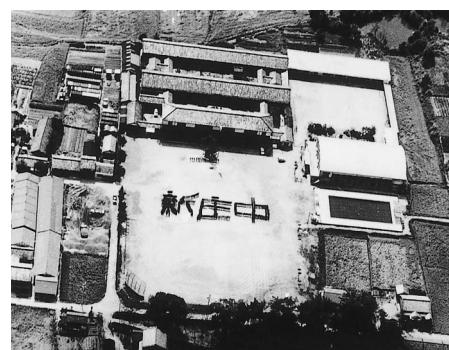
郵便集配区を改め、新庄郵便局で町内全域を集配

大和新庄電報電話局開局自動化する

吉野川分水西部幹線水路工事、大字大屋まで竣工

忍海小学校校舎落成

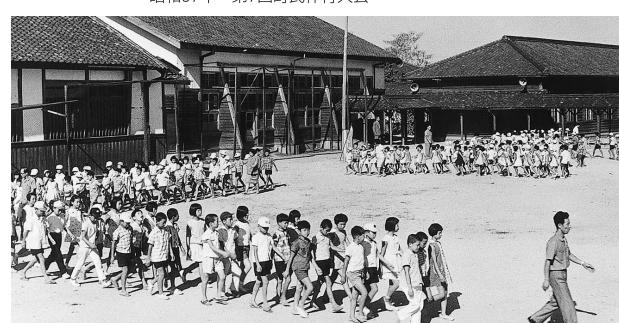
1966 ← 1951



昭和39年 東京オリンピック記念の人文字



昭和38年 近鉄新庄駅舎



昭和35年頃 忍海小学校運動会練習会



昭和31年 忍海村との合併協議会成立発足

万博～石油ショック 地価の高騰

高度成長を遂げた日本だが、その後の石油ショックで輸入原材料を高度質加工する貿易立国の基盤のもうさを露呈。買いだめパニックに陥る。

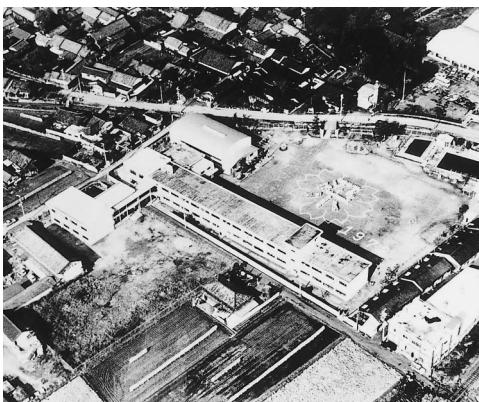
インフレと不況による不安が続く同時期、新幹線開通、沖縄海洋博開催、成田空港開港、神戸・ポートピア'81開催。新庄町ではスポーツ文化事業が盛んに行われるようになります。



昭和47年 清掃センター完成



昭和47年 新庄町内を走る蒸気機関車



昭和47年 忍海小学校



昭和47年 新庄中学校 視聴覚教育機器による学習



昭和48年 町制施行50周年

西暦 年号

新庄町のあゆみ

主な出来事

1967 昭和42

農業構造改善事業農道忍海～山田線 東屋～中戸線竣工

吉野川分水西部幹線水路工事大字中戸まで竣工

ひとまる児童公園完成

健民運動場 忍海小学校プール竣工落成式

学校給食共同調理場落成、町内3校給食となる

「新庄町史」出版

ミニスカート大流行

公害対策基本法公布

吉田茂氏死去(89)、31日戦後初国葬

国土調査による地籍調査開始

ハーフパンツ

厚生省がイタライタイ病を公害病と認定

子ども会発足

川端康成氏がノーベル文学賞を受賞

郵便番号制

好景気連続43ヶ月目に入り、戦後最長記録「いざなぎ景気」

43年の日本国民総生産51兆920億円、

西ドイツを抜き世界第2位に

同和対策事業特別措置法公布

アメリカのアボロ11号月面着陸

3・14 日本万国博覧会開幕

西ドイツを抜き世界第2位に

同和対策事業特別措置法公布

1967	昭和42	農業構造改善事業農道忍海～山田線 東屋～中戸線竣工	政府による初の原爆被爆者実態調査(40年実施)で生存被爆者29万8,500人
1968	昭和43	健民運動場 忍海小学校プール竣工落成式	吉田茂氏死去(89)、31日戦後初国葬
1969	昭和44	新庄小学校校舎増改築事業、鉄筋コンクリート造り2階建校舎2棟落成	国土調査による地籍調査開始
1970	昭和45	新庄小学校校舎増改築事業、鉄筋コンクリート造り2階建部3階建本館棟	ハーフパンツ
1971	昭和46	団体営農道守口線(為志線)竣工	公害対策基本法公布
1972	昭和47	新庄中学校改築事業、鉄筋コンクリート造り3階建校舎1,500m ² 落成	吉田茂氏死去(89)、31日戦後初国葬
		スポーツ少年団発足	ミニスカート大流行
		新庄中学校増改築事業、鉄筋コンクリート造り3階建一部4階建運動場落成	ハーフパンツ
		新庄農協北事業所開設	公害対策基本法公布
		团体営農道新村線竣工	吉田茂氏死去(89)、31日戦後初国葬
		新庄町役場増築工事落成	ミニスカート大流行
		脇田地光寺跡発掘調査	ハーフパンツ
		清掃センター起工式	公害対策基本法公布
		屋敷山古墳史跡指定	吉田茂氏死去(89)、31日戦後初国葬
		忍海小学校校舎増築工事、普通教室4・特別教室2・計2落成、上水道第4次拡張竣工、総合落成式	ミニスカート大流行
		清掃センター火入れ式	ハーフパンツ
		第2健民運動場竣工、清掃センター落成、忍海小学校増築	公害対策基本法公布
		落成、上水道第4次拡張竣工、総合落成式	吉田茂氏死去(89)、31日戦後初国葬
		清掃センター火入れ式	ミニスカート大流行

1981 ← 1967



昭和50年 屋敷山公園落成



昭和55年 スポーツセンター竣工



昭和53年 第4回全日本教育工学協議会奈良新庄大会開催



昭和48年 文化協会総合発表会



初期の公園まつり

1981	昭和56	昭和55	昭和54	昭和53	昭和52	昭和51	昭和50	昭和49	昭和48
新庄町消防組合業務開始	西葛城消防組合合併	新庄町消防百年祭式典	新庄町消防組合合併	新庄町消防組合合併	新庄町消防組合合併	新庄町消防組合合併	新庄町歌音頭制定	新庄小学校付属幼稚園・忍海小学校付属幼稚園落成	新庄小学校付属幼稚園・忍海小学校付属幼稚園落成
西葛城消防組合合併	日本バレーボールリーグ新庄大会(新庄中学校体育館ごくら落とし)	スポーツセンター・老人福祉センター総合落成式	(普通教室3、図書室・特別教室、運動場拡張)	浄水施設築工事完成通水式 (沈殿池、ろ過池、処理能力3,000立方メートル/日)	新庄町消防組合合併	新庄町消防組合合併	新庄町消防組合合併	9.13新庄町制施行50周年式典	9.13新庄町制施行50周年式典
シャープ(株)新庄工場操業開始	日本バレーボールリーグ新庄大会(新庄中学校体育館ごくら落とし)	スポーツセンター・老人福祉センター総合落成式	国鉄経営再建特別措置法施行 赤字ローカル線廃止	神戸ポートピア'81開幕	小・中学校新学習指導要領告示「君が代」が国歌に	王貞治、756本本壘打世界記録樹立	山陽新幹線岡山～博多間開通	沖縄国際海洋博覧会開催(5.1～18まで)	沖縄国際海洋博覧会開催(5.1～18まで)
新庄農協東支所開設	新庄農協東支所開設	新庄農協東支所開設	モスクワオリンピック不参加	東京サニーハイツ開催	小・中学校新学習指導要領告示「君が代」が国歌に	王貞治、756本本壘打世界記録樹立	大阪空港騒音訴訟、住民完全勝利	佐藤栄作前首相がノーベル平和賞を受賞	佐藤栄作前首相がノーベル平和賞を受賞

オペック石油の生産削減と供給制限 (石油危機 石油ショックから物価急上昇)	地価上昇率最高に、狂乱物価	70歳以上の老人医療無料
9.13新庄町制施行50周年式典	新庄町歌音頭制定	第四次中東戦争
新庄小学校付属幼稚園・忍海小学校付属幼稚園落成	新庄町古墳発掘調査(長持形石棺ふた石出土)	新庄・葛木・南道穂地内を一方通行規制
新庄小学校付属幼稚園・忍海小学校付属幼稚園落成	忍海幼稚園・新庄小学校増築事業	新庄・葛木・南道穂地内を一方通行規制
新庄小学校付属幼稚園・忍海小学校付属幼稚園落成	新庄町歌音頭制定	新庄町歌音頭制定

1982 昭和57 新庄中学校増築工事完成(普通教室13、特殊教室4)

新庄町国体実行委員会発足

忍海小学校みどりの少年団に知事表彰

第14回全国教授組織研究大会・新庄大会

台風10号襲来、集中豪雨で被害甚大

西葛城消防署に水槽付ポンプ車寄贈

広報「新庄」100号発行

1983 昭和58

ボーアスカウト北葛第2回結成20周年記念式典

新庄小学校で文部省指定研究発表会開催

奈良県社会教育センター落成式(新庄町寺口)

近畿実業団バレーボール連盟杯争奪男女九人制優勝大会(新庄・香芝・當麻3町で開催)

山麓線バス路線延長(屋敷山公園まで)

NHKのど自慢開催(ゲスト森進一、和田アキ子)

新町運動公園・「ミコティセンター」開所式

新町運動公園こけら落とし(日本サンカーリーク公式戦)

ヤンマー・ディゼル対日立製作所

11・3新庄町町制施行60周年記念式典

第19回全国社会人サッカー選手権大会(わかくさ国体リハーサル)

日本バレー・ボーラーリーグ公式戦

(町民体育館・専売広島対松下電器 中学校体育館・住友金属対新日本製鉄)

高松宮殿下ご来町(飯豊天皇山陵にご参拝)

足田子ども会連合会、優良子ども会として知事表彰

アラスカ州中学生42人来町 新庄中学生と交流

健民グラウンド御陵線開通式

忍海駅前広場完成

第39回国民体育大会(わかくさ国体)開催

臨時教育審議会設置

第39回国民体育大会(わかくさ国体)開催

一万円、五千円、千円の新札発行

日本電信電話公社は日本電信電話株(NTT)に

日本電信電話公社は日本たばこ産業株(JT)に

筑波科学万博開催

大鳴門橋開通

日航ジャンボ機墜落(520人死亡)

神戸ユーパーシアード開催

大鳴門橋開通

奈良県植樹祭(奈良県社会教育センターにて)

奈良県社会教育センター宿泊棟「かつらぎ」オープン

改訂「新庄町史」出版

第39回国民体育大会(わかくさ国体)開催

本町開催種目、(サッカー競技会成年男子、バレー・ボール競技会成年男子6人制)

忍海駅前広場完成

第39回国民体育大会(わかくさ国体)開催

山麓線のバス路線延長(近鉄忍海駅まで)

奈良県植樹祭(奈良県社会教育センターにて)

奈良県社会教育センター宿泊棟「かつらぎ」オープン

昭和59年 第39回国民体育大会(わかくさ国体)秋季大会

昭和59年 高松宮殿下ご来町(飯豊天皇山陵にご参拝)

ノーベル賞ダブル受賞

インターネットや、携帯電話の普及により情報化社会が急速に発展し、世界との「コミュニケーション」がより身近になりました。また、スポーツや文化の輪も拡がり、新庄町もワールドカップ等により世界との交流がますます深まりました。



平成13年 第一回商工まつり



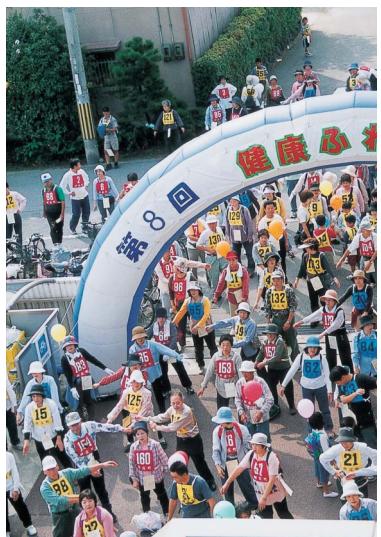
平成14年 チュニジア共和国の公開練習



平成14年 北幼稚園にて子ども英語教育



平成14年 第1回新庄町・當麻町合併協議会



平成14年 健康ふれあいまつり

西暦	年号	新庄町のあゆみ
1993	平成5	梅室ミニユーティセンター落成
		町役場 完全週休2日制を導入
		山田集会所落成
1994	平成6	8・3町制施行70周年記念式典 新庄市・新庄町・新庄村友好自治体共同事業協議会設立 屋敷山ミニユーティセンター落成 北道穂ミニユーティセンター落成 南藤井ミニユーティセンター落成 南道穂ミニユーティセンター落成 「分別収集七デル大字」の設定(大字新庄、寺口、林堂、新村) 笛吹集会所落成
1995	平成7	大屋ミニユーティセンター落成 西辻ミニユーティセンター落成 西辻ミニユーティセンター落成 阪神大震災の被災地に第1回救援物資搬送 新庄町健康福祉センター落成 新庄町消防団第3分団屯所落成 「ロマントピア藤原京95」イベント「新庄町の日」 新庄町ふれあい農園開設 大字林堂33m×69区画 第8回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクなう95」
1996	平成8	第1回健康ふれあいまつり開催 西室ミニユーティセンター落成 笛堂ミニユーティセンター落成 北花内ミニユーティセンター落成 新庄町多目的広場(ディ・キャンプ用)開園 5・3新庄町・忍海村合併40周年記念式典 (災害時における友好自治体相互応援協定を結ぶ) 「新庄町第2ふれあい農園」開園
1997	平成9	5・3新庄町・忍海村合併40周年記念事業 第40回町民体育祭 北花内JR地区ミニユーティセンター落成 中学校武道場・プール引継式並びに竣工式 新庄町ミニシルバー人材センター設立 新庄中学校創立50周年記念式典

4・1消費税率%に	「O—157」堺市の小学校で発生全国に広がる
臓器移植法成立	野茂英雄・米大リーグでナリーグ新人王
10・20第41回総選挙	淡路阪神大震災
(小選挙区比例代表並列制)	東京都地下鉄サリン事件 スペースシャトル「ロロンピア」に搭乗 大江健二郎氏ノーベル文学賞受賞

5・3新庄町・忍海村合併40周年記念事業 第40回町民体育祭 北花内JR地区ミニユーティセンター落成 中学校武道場・プール引継式並びに竣工式 新庄町ミニシルバー人材センター設立 新庄中学校創立50周年記念式典	4・1消費税率%に
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------

2003 ← 1993



体力づくりセンター完成予想図(H16/2竣工予定)



平成14年 新庄町生涯学習まちづくり推進大会



「花いっぱい運動」実践報告

現庁舎／昭和61年～

前庁舎／昭和32年～昭和61年

旧庁舎／大正14年～昭和32年まで

時代の流れを感じる

新庄町庁舎の今昔

2003	2002	2001	2000	1999	1998
平成15	平成14	平成13	平成12	平成11	平成10
人口 世帯数 平成15年度予算額 企業会計予算額 合計	新庄町戸籍総合管理システム開設 2002年FIFAワールドカップの日韓共同開催に伴い、奈良でチヨーリジア共和国のサッカーキャンプ地公式練習場に決定。本町は第一健民運動場を第2トレーニング会場にて、ワールドカップ本大会に向けて公開練習を行う 新庄町・富麻町合併協議会設置(法定協議会) 新庄町庁舎四階及び地域情報センター開所 公園整備工事竣工式 7・8新庄町体力づくりセンター起工式	「家電リサイクル法」施行 第1回商工まつり	介護保険制度施行 学童保育所開設	緊急経済対策として地域振興券公布(使用期間6ヶ月)	朝市「アグリマート」開設 「第1回新庄町福祉大会」開催
84億4,300万円 54億0,058万円 7億2,771万円 145億7,129万円	人口 19,778人(8月現在) 6,448世帯(8月現在)	同化賞に田中耕氏が受賞 イラク戦争 阪神タイガース18ぶりにセ・リーグ優勝	9・15藤井本町長逝去 第14代町長 吉川義彦氏就任(H12.10.22～現在に至る) 前新庄町長 藤井本繁治町葬 新庄町歴史民俗資料館開館 教育委員会事務局機構改革(生涯学習の充実)	9・15三宅島噴火・全島民避難 シドー五輪で女子マラソン・高橋尚子がオリンピック最高記録で金メダル 九州・沖縄サミット 淡路花博開幕 東海村で国内初の臨界事故 国旗・国歌法成立	西葛城消防組合 緊急通信指令施設 消防車庫増改築竣工 新庄町歴史民俗資料館起工式 9・22台風7号直撃 町内各所被害甚大
	8・29未続慢吾、世界陸上200mで日本人初の銅メダル				第18回冬季長野オリンピック開幕

歌人『前川佐美雄』生誕一〇〇年

いさぎよき ときもあるもの 葛城の
あを根に懸かる 雲晴れぬけば



右歌碑の拓本



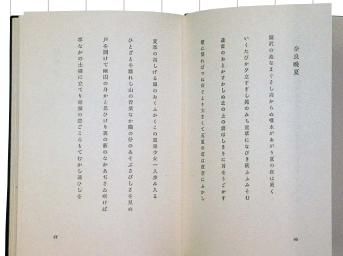
昭和22年



昭和18年



昭和5年



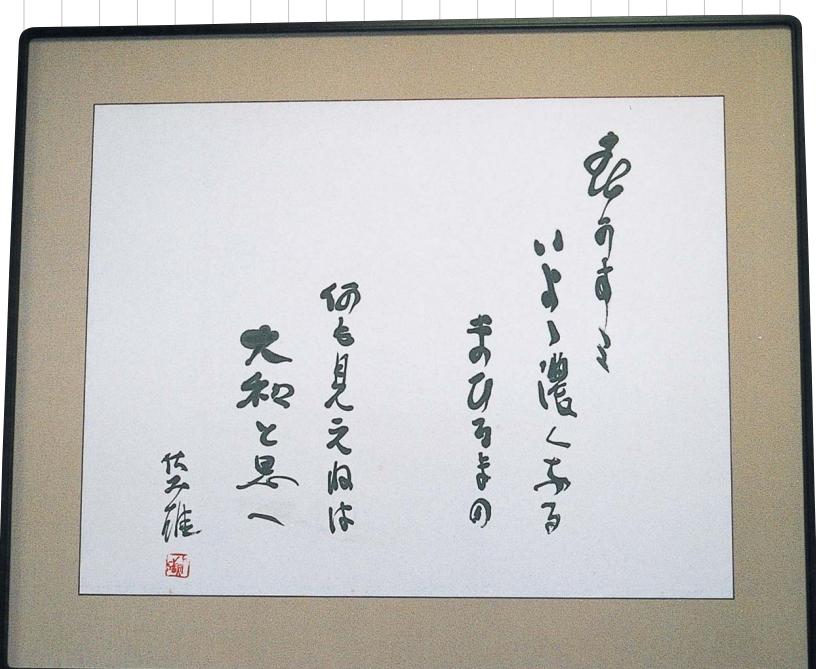
昭和39年



昭和20年



昭和16年



歌集『大和』より

新庄町の名譽町民・前川佐美雄氏は、明治36年2月5日、南葛城郡忍海村大字忍海（現新庄町大字忍海）に生まれる。幼いころより絵画芸術に親しみ、大正10年に佐々木信綱に師事。昭和5年に第一歌集『植物祭』を発表。シユールレアリスムの影響を受けたその歌風は、伝統的な歌壇に新風を吹き込んだ。その後も戦前・戦中・戦後を通じて日本歌壇の旗手として活躍し、平成元年には日本芸術院会員に選ばれる。前川氏は、どこにいても生まれ故郷の葛城を愛し、望郷の歌を数多く残している。



記念誌あいさつ

新庄町が町制を施行致しましたのは、古く大正12年8月31日にさかのぼります。翌日に関東大震災が発生したこととも相俟つて、忘れ得ぬ日となりました。以来、町としての営みを重ね、今年は記念すべき町制80周年を迎えます。

今日までの道程は決して平坦ではなく、山あり谷ありの連続でしだけれども、数々の困難を乗り越えて今日を迎えたのは、まぎれもなく町民の皆様並びに関係者の皆様のご努力・ご協力の賜物に他なりません。新庄町を今日までお導きくださった皆様に対し、改めてここに深甚の敬意と謝意を表します。

さて、現代の社会はあらゆる面で混迷の中にあり、先行きの不安感・不透明感を誰もが覚えずにはいられません。

しかしながら、80周年を契機として、私たちは従来にも増して「豊かで住みよい町づくり」のため全力を傾注しようと決意致しております。単に物質的な豊かさのみを追求するのではなく、「真の豊かさ」「住み良さ」とは何かを今一度問い合わせながら、町民の皆様、関係各位の方々と手を携えて歩みたいと存じます。

どうか皆様には、なお一層のご指導・ご協力を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。



新庄町長
吉川 義彦

平成15年10月





新庄町役場

奈良県北葛城郡新庄町柿本166 〒639-2195
TEL 0745(69)3001 FAX 0745(69)6456
<http://www.town.shinjo.nara.jp/>